お問い合わせ先

〒812-0026
福岡市博多区上川端町9-35
リノベーションミュージアム冷泉荘
A12号 冷泉荘事務局
（11:00～19:00, 火曜定休）

電話/FAX **092-985-4562**
mail **yj@tenjinpark.com**
http://www.reizensou.com/

twitter
@reizensou
Facebook
www.facebook.com/reizensou/

――冷泉荘 交通アクセス――

地下鉄空港線中洲川端駅下車・5番出口から川端商店街をキャナルシティ方向へ。博多らーめんを左折し、博多消防署冷泉出張所手前の小道を左折。
＊駐車場はございません。

リノベーションミュージアム 冷泉荘とは・・・

7月12日は冷泉荘お誕生日！ 築61年になります♪

ビルストック文化の学び合い、そして発信の場

博多区上川端町で築61年を迎える昭和のレトロビル、リノベーションミュージアム冷泉荘。「福岡の古い建物を大切に活かす（ビルストック活用）」を基本理念に、「ひと」「まち」「文化」を大切に思う人たちが集まっています。2011年1月には耐震補強工事を行い、2012年、第25回福岡市都市景観賞 活動部門にて部門賞受賞。100年続く活動を目指して「持続的」で「環境型」の建物として文化発信を行なっています。

cover model

B35号 美・Body salon NAPUA

ナプアでは、健康に関するセミナーも行なっています。例えば、食育セミナー、ファスティング、ヘッドマッサージトレーニングにヨガインストラクターのために個人指導。たまに、味噌作りやオーガニック料理教室など。このサロンの特徴はグリーンが育つ事、良い風が流れていますよ。いつでもご連絡ください。

ohanapua14@gmail.com 高橋ひとよ

column REIZENSOU 7月

ドネルモ伝 22

座折のデザイン篇 その5

（続き） まず本ケースでは、〈普通の福祉〉のなかで人がケアの対象として扱われるあり方をよしとせず、制度が想定していない二人暮らしのシェアハウスの実現が目指された。ここでポイントは、一連のプロセスが、ケアする側のS氏の独創性に基づくのではなく、AさんとBさんのあり方に基づいて、不思議なかたちで生み出されたところにある。

当人を介護サービスの対象として取り扱い、制度化されたケアを受ける一連の流れにAさんやBさんをあずけてしまうあり方を否定し、普通の外側へとS氏を駆動したのは、彼女たちの非同一性の豊かな展開を押し殺して、既存の枠に嵌めて解決することへの違和感であった。

そして本ケースでは、本人のニーズの実現という常識的な解決策もまた、根本から問われた。彼女たちが抱える「子どもに会いたいけれど会えない」という解決不可能な状況に、〈子どもとの対面〉というニーズを満たすアプローチは挫折せざるをえない。この点で、自らのニーズを満たすことで人間性を実現しようとするヒューマンセンタードデザインは、自らのニーズを原理的に満たせない彼女たちに対応できない。同時に「子どもに会いたいけれども会えない」というもはや本質的に解消できない内面の傷に対応したケアを、専門職は提供することができない。その意味で、専門職のケアもまた、ここでは挫折している。

このように、既存のアプローチが挫折(失敗)を重ねるプロセスを通して、二人暮らしのシェアハウスが実現するに至った。この一応の結果に対しても、S氏が懐疑的であることは先述したが、さらに次のようにも言う。「もしも、二人暮らしがうまくいかずに喧嘩別れでもしたときはどうするつもりだったのか？」という筆者の問いに対し、「それこそ自己決定でしょう」と笑いながら答えるのである。(続く)

【今月の担当】 山内泰
（NPO法人ドネルモ代表理事）

冷泉荘プロデュース スペースRデザインの レトロビルこばなし

賃貸住宅フェア2019in九州、熱い2日間のレポート

6月18・19日、福岡国際センターにて賃貸住宅フェア2019in九州が開催。スペースRデザインはブースを出展し、代表の吉原はセミナーに登壇。たくさんの人にお会いでき、さまざまなことを吸収させていただきました。

吉原が進行役として登壇した「九州賃貸住宅アカデミー」では、新しく発足した九州不動産賃貸学研究会の発表が行われました。不動産賃貸が持つ可能性を検討することを目的とし、不動産と学の分野を結びつける新たな取り組みです。九州の4大学（福岡大学・九州工業大学・熊本県立大学・九州産業大学）が大学周辺の空き家活用について研究発表しました。

学生ならではの、まちの特性を活かした柔軟な発想と理論で物件を活用し、事業として実際に動かしている事例もあり、とても驚かされました。空き家と向き合い、それを「資源」として捉えると、学生の学びの実践の場となります。また、賃貸オーナーは学生と関わることで新しい発想でまちを巻き込み、地域に根付いた賃貸不動産に成長させることができます。今後の展開に期待です！

私たちのブースは、スタッフのDIYで作りました。お知り合いオーナーさんの写真撮影スポットに・・・！私たちの想いが詰まった空間。たくさんの方にお越しいただき、とても温かいブースとなりました。今後、オーナー向け勉強会や説明会を定期的に開催する予定です。ビンテージビルのご見学や、私たちが日々のようにビル再生事業に取り組んでいるかをお伝えしておりますので、ご興味ある方はぜひご参加ください。2日間、本当にありがとうございました。

＜7月12日「ビンテージビル体験説明会＆追い山ならし観覧会」イベントページ＞
https://www.space-r.net/event/vintage20190712

スペースRデザイン しんの

SUKOYAKA ～ OHANA たちへ

ナプア発 49号

「座ったままヨガ」 出来ない事は何もない

今回は、私の娘で只今ヨガインストラクターの卵～勉強中の娘の初blogの紹介をさせてください。実は彼女は下肢障害を持っていて、ラウレアスタジオの3階の階段を昇り降りするのも困難なほど。ヨガ養成に通って、どうやら自分の進む道を模索中。プロフィールをご覧ください～よろしくお願い申し上げます。

==========

ヨガインストラクターの卵のayakaです！私は生まれつき下肢障害で装具（義足）を付けて生活しています。母はインストラクター歴30年。フィットネスインストラクターやヨガピラティスの教え子を300人以上育てた指導者。「自分の人生は誰のものでもない」と障害を持った私をどこにでも連れて行ってくれた母です。沢山の出会いをプレゼントしてくれました。もともと私は子供の頃、運動神経は良く水泳、かけっこも負けたくないと、出来る限りのことは参加していました。大人になって、身体を動かすことも少なくなった時、装具の使用で身体のバランスが悪く体調が優れなかった時に母のピラティスのクラスに参加させてもらいました。

なぜピラティスを選んだかというと元々ピラティスはリハビリができたといわれている為、激しく動くことはなくインナーマッスルを鍛えることが出来、私にはぴったりだと思ったからです。身体の調子が良くなってきた頃ヨガもチャレンジしてみたいと思うようになっていきました。でもヨガは立位のポーズや難しいポーズが多く私には縁遠いものだと思っていました。ところがある日、母から「ayakaヨガのインストラクターになる気は無い？」何か物足りない日々を過ごしていた私にちょうどいいタイミングでヨガの勉強をしないかと言われ驚きました。でも。。「無い無い無い…（ ゜д゜）」だって、私は立ってポーズができないし綺麗なポーズができるはずない…。(続く)

hitoyo
（ラウレア・ヨガ＆ピラティス スタジオ代表／美・Body salon ナプア代表）

冷泉荘入居者紹介

ご入居・レンタルスペースに関するお問い合わせ
冷泉荘事務局
092-985-4562
お気軽にお問い合わせください。

冷泉荘ギャラリー、2コ1多目的スペース、よりあい読書室は、
利用内容に応じてサイズを変えられるレンタルスペース。
料金は1日4,000円～10,000円（税別）。
展示などで7日間のご利用には、お得な割引プランもございます。

サテライト冷泉荘 蝶和ビル（博多区店屋町4-8）
303 博多・町なかやきもん 和陶房 陶芸教室
505 LEAD Graphics デザイン会社
駅前1丁目ビル［3階］（博多区博多駅前1-7-9）
辻ノ堂_ラウンジ スタジオオフィス

Cotomono Exhibition

柔らかな色合いに染めた生地やオリジナルテキスタイル、シンプルな布合わせだけで作ったカバンなど、いろいろなキモチをいろいろなカタチにしました。布がカタチづくる自由でちょっぴり不思議な世界を。期間中、テトラグラフ写真室ベランダカフェオープン。小山珈琲のドリップ珈琲ほか、美味しいお菓子をご用意しております。冷泉荘の屋根うら部屋でみなさまのお越しをお待ちしております。

日時：6月29日(土)～7月7日(日)13:00～19:00
場所：A51号 テトラグラフ写真室
【詳細】https://cotomono.wordpress.com

Cotomono Exhibition Sound Drawing

Cotomono Exhibition 開催中、会場にて音楽家：西村周平さんのライブが行われます。ひとつひとつやさしく紡ぐ弦の音色が心に身体に深く沁みこんできます。忙しい毎日を少しだけ忘れてみませんか。

日時：7月6日(土)開場19:00／開演19:30
場所：A51号 テトラグラフ写真室
料金：1,500円 + 1drink order
■出演：西村周平（Guitar）
【詳細】西村 周平 | Loop Connects Label
https://www.nishimurashuhei.com

好きを全開にして自分を生きる ～ウシジマさん家の親子個展～

“自分らしく” から “自分を生きる” へ そこに辿り着くための自分を開く鍵 はあなたの中に。あなたの好き♡があなたを開く。魂を発動させて世界観を突き抜けさせるアーティスト 牛島郁子 と、4歳から飛行機大大大好きでオリジナルの立体紙飛行機を作り続ける天才飛行機マスター・小学5年生の息子が人生初の個展を開きます。親子でそれぞれの好き♡を全開にしてお待ちしています♡

日時：7月24日（水）～28日（日）
11:00open、17:00close（予定）
場所：B棟1階 冷泉荘ギャラリー
【詳細】https://www.ameblo.jp/tianafelice

自分で着る浴衣 簡単着付け教室

日時：7月6日(土)11:00～
場所：B54号 冷泉復元部屋
受講料：1回 2時間 2,000円
＊浴衣、半幅帯、腰紐2本はご用意お願いします。
【問&予約】090-1364-3121
ほんだ着付け教室 本田

「酒落市場（しゃれいちば）」第4回テーマ「白と黒」

人とモノを結ぶ市。お酒落なもの・面白いもの・駄酒落の効いたものなど こだわりの手作り品をお届けします。第4回のテーマは『白と黒』。全ての光を反射する白と吸収する黒。光と影(闇)、正と邪、高貴と重厚…様々な想像を引き出す 共に無彩色でありながら相反するイメージを持つ白と黒をテーマにした作家達の共演をお楽しみください。

日時：7月12日(金)～14日(日)
12日(金)13時～18時、13日(土)11時～17時、14日(日)11時～17時
場所：B棟1階 冷泉荘ギャラリー
【詳細】http://sharedajyare.strikingly.com/

れいぜん荘ピクニック2019&あおぞら市

冷泉荘をぐるっと散策！多様な業種のお部屋見学やイベント参加、管理人が案内する「冷泉荘ツアー」など冷泉荘をたっぷりすみずみまでご堪能いただけます。約30店の作家・お店が集まる「あおぞら市」も同時開催。作家さんとの出会いやお買い物など、たっぷり楽しめます！17:30からは屋上で交流会も。FUKUOKA ART NINJA特製の新作灯明(ランタンウォール)も登場します。もちろん屋上卓球大会も開催！おたのしみに！

日時：7月21日（日）11:00～17:00ごろ
＊冷泉荘屋上交流会 17:30～19:00ごろ
場所：冷泉荘のあちこち ［＊屋上交流会のみ雨天中止］
【問】冷泉荘事務局 [092-985-4562]
http://www.reizensou.com
あおぞら市実行委員会 [092-986-2511]
http://www.aozoraichi.info

サンダーレンズ
Thunder Lens*

サンダーさんのカラフルなジャケットの下には、いつもお宝が眠っています。今回もチラッと見慣れた文字を見つけてTシャツを見せていただくと、名神高速道路が開通して 50 周年を迎えた 2013 年に企画された案内標識をモチーフにしたレアデザインが隠れていました。標識デザインの使用は、著作権上特に制限がなく使用にあたっては利用者に混乱を与えることのないよう十分に配慮の上ご使用いただくいことが可能だと国土交通省「道の相談室」で説明されていますので自作できるかも。：雨宮康子

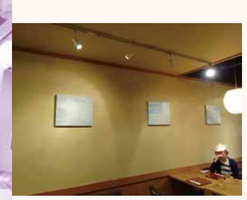
酒民党員でもある、まちづくり屋さんに聞く！

まち in 酒話

タコでお酒を

ようやく梅雨に入りましたね。水不足の心配が少しやわらぎましたね。今回はタコの話を。

「半夏生」（はんげしょう）という言葉があります。梅雨が終わることを表す雑節の一つです。雑節というのは二四節季以外の、彼岸などです。半夏生の語源は、半夏の別名を持つ烏柄杓（カラスビシャク）という毒草が生えるからという説と、これまた半夏の名前を持つ片白草（カタシログサ）という毒草の花が咲くという説があります。今年、2019年令和元年の半夏生は7月2日です。そして半夏生にはタコを食べる習慣があります。田植えが終わるこの時期に、タコを食べると稲の根がタコの足のようにしっかりと広がり、稲穂はタコの吸盤のように実るとの願いが込められています。また、タコにはビタミン系の栄養素と疲労回復に優れたタウリンが豊富に含まれています。「いり酒」という日本酒、梅干し、かつおダシ、塩だけで作るつけ醤油があります。タコの旨味を引き立てる古風な調味料です。タコと一緒に冷酒で夏の始まりを楽しみたいですね。



アトリエ穂音 日本画家の徒然日々

七夕月

半年が過ぎましたね。あまりにも早く進む時間のスピードに追われつつ忙しい毎日ですが、1年の内で最も一番長くなる夏至も、先月の6月21日でした。いよいよ、ここ博多界隈では、山笠に向けてのムードが高まってきます。この辺の街を歩けば、夕方になると長法被を着た男性陣を、見かけるようになってきました。これも又博多の風物詩、いいものです。

7月になるとうちの家では、すでに風鈴と葦簀（よしず）を今年も又ベランダに出します。中々そうそう出来ないのですが、毎日を丁寧に暮らすようにしたいものです。しばらく旅に出かけるのも又よしです。

今年は9月末に京都で2年おきの個展が開催され作品が展示販売されます。［京都市左京区ギャラリー恵風 9/24（火）～29（金）まで］ よろしかったら、旅行がてらお出かけ下さいませ。又、京都市上京区今出川通り智恵光院下がる右手にあります「季節の台所 そら豆」、2019年のお正月から比佐の抽象画の日本画作品をお店の壁面に飾って頂いております。町屋を改装して作った京都のお総菜料理中心のカジュアルなお店で、リーズナブルな上に、美味しいので是非お食事にお出かけ下さい。

※昼はランチ、夜は予約のお任せコースのみですが、お店には日本酒やワインもあり飲めますので、酒の肴にも良いお料理です。

余談ですが、お茶の稽古は、唐物の次の段階、台天目に進むことになりました。台天目になると、5年間はもう上の段には進めません。だんだんと毎月お茶稽古三昧のお茶漬け状態となっている日々であります。では又来月。

アトリエ穂音／日本画家 **比佐水音**（ヒサミヲ）